

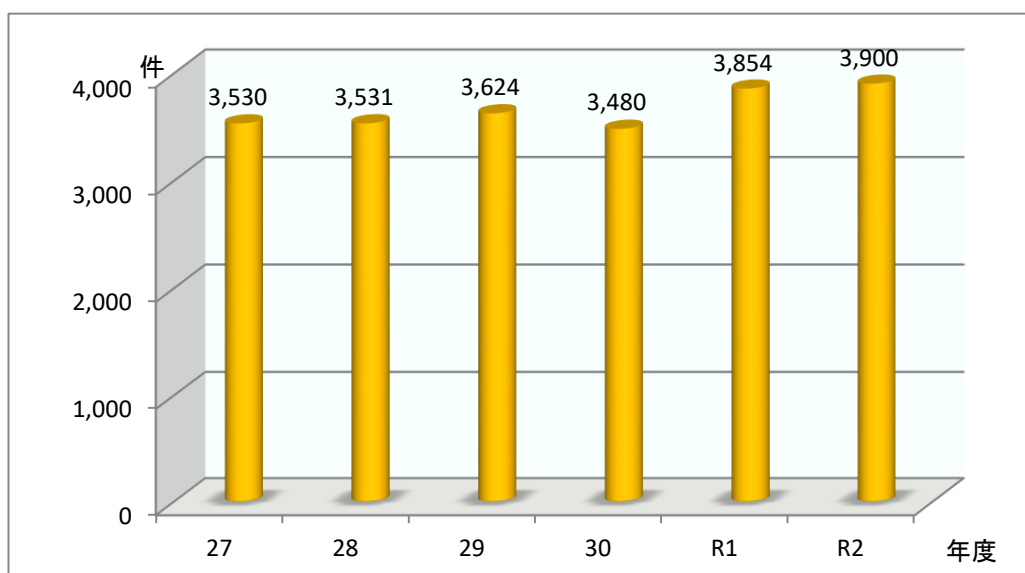
5 手術全身麻酔件数

解説

局所麻酔全身麻酔では、手術件数としては同じですが、麻酔にかかわるスタッフへの負担が大きく異なります。ここでは麻酔科の関与する全身麻酔を指標とし、高度な診療のプロキシ(代理)とします。

小児の画像診断等でも全身麻酔が使用される場合がありますが、ここでは手術に限定します。体位等により、一手術中に複数の「L008マスク又は気管内挿管による閉鎖循環式全身麻酔」が算定されますが、一連の麻酔で1件とします。

実績



自己点検評価

引き続き高い水準を維持しております。高齢化社会や手術術式の複雑化などにより、全身麻酔に対する麻酔科医は非常に重要な存在となっています。今後も臨床工学技士と連携して麻酔科医が本来の業務に専念できる体制の維持に努めます。

定義

手術目的の全身麻酔の件数。
検査等における全身麻酔件数は除きます。
レセプト算定ベースで算出しています。

算式

実数